

事務事業評価表（平成26年度）

事業コード	2080	課コード	0503	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	小児のインフルエンザワクチン予防接種費用助成		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・健康づくり支援課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	平成26年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.04人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	14,223千円 (うち人件費 372千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	31102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 第4次健康福祉総合計画・子ども		
(2) 目的	施策目的・展開方向	感染症の罹患と重症化を予防するため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率の向上を図ります。また、任意接種についても、市民の費用負担の軽減を図るなど接種しやすい体制を整備します。			事業目的	インフルエンザ予防接種を受けた児の保護者に対し、予防接種に要する費用の一部を助成することにより、保護者の経済的負担を軽減するとともに、流行時にインフルエンザ予防接種を受けることによって、発病予防・重症化予防、及び集団感染の予防を図ることを目的とする。						
(3) 事業内容	内容	生後6か月～小学6年生の児を対象にインフルエンザワクチン予防接種の費用を助成する。 助成額：1,000円/回、年度内一人2回まで 接種場所：市内委託医療機関等 時期：10月～翌年1月15日 ※市外医療機関で接種した場合は償還申請できる。			当該年度執行計画	H26.9月 小児のインフルエンザ予防接種費用助成事業要綱制定 10月 市内委託医療機関からの請求による委託料の支払い 市外医療機関で接種した場合の償還申請受付及び支払い						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	件	想定値	13,580	
当該(開始)年度	疾病の発生及び発病の防止を図るため、対象者の接種率を向上させる。				直接	接種者件数(延べ件数)		件	0	実績値	13,580	
3年後	疾病の発生及び発病の防止を図るため、対象者の接種率を向上させる。				直接	接種者件数(延べ件数)		件	0	13,580		
最終(概ね5年後)	疾病の発生及び発病の防止を図るため、対象者の接種率を向上させる。				直接	接種者件数(延べ件数)		件	0	13,580		
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成25年度		平成26年度			平成27年度		平成28年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計		0	合計	13,851	合計	13,635	合計	13,635		
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源			0		13,851		13,635		13,635		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0		0.04		0.04		0.04				
	正職員人件費	0		372		372		372				
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0				
	臨時職員賃金額	0		0		0		0				
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	0		14,223		14,007		14,007				
(11) 単位費用	0千円/**		1.05千円/件									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
	予防接種法に位置づけがされていない任意予防接種であり、市が助成制度を実施することで、保護者の経済的負担を軽減すると共に、適切な時期にインフルエンザ予防接種を受けられることで、疾病への罹患や罹患した場合でも重症化を防ぐことができる。また、多くの人が予防接種を受けることで感染症の流行(集団感染)も防ぐことができることから、勤めていく必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要		
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他										
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容				工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> なし									○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点				取組む内容				実施した具体的な内容	環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし									○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	0	13,580	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策				実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>				実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	954.79		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------